

国策の制定

黒田インターナショナル

黒田 毅

国策の制定は、国義を抱き、その揺らぎない信念を提示することである。

全ての自己考査を経て、未来を求めることはより優れた国家への転換を可能とするものである。

全ての政治組織の見直しと新しい国家としての自己は、必ずその政治基盤を要求されるのである。

国家は必ずその独立を旨とする。この信念は、自己の自立を未来への決意を要求されるのである。

決意は、必ずその行動を生むのである。

世界との融和は、対立から、新しい協力を世界へ提案し、自ら世界と未来への責任を求め行うことは、新たな現実を必ず自己に与えるのである。

政治家は必ず国民の模範として自己が求められる。政治家は、必ず国民と国家の未来を自己に有するのである。

世界の光とは、その希望で有り、自己がその模範として世界への未来を提供することは必ずできるのである。

これらは新たな政治の決断と行動を求め、これらは必ず新しい国家を与えるのである。